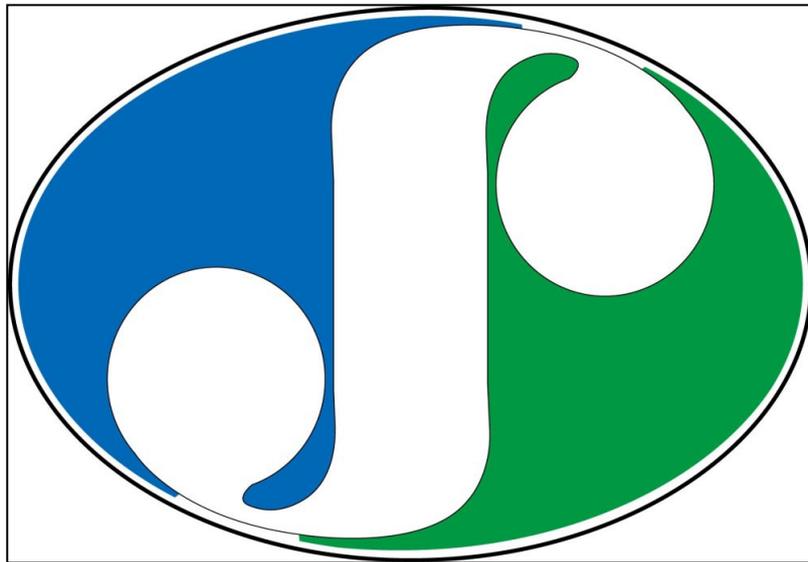


エコアクション 21 環境経営レポート

令和5年4月～令和6年3月

未来の確かな環境を創造



令和6年6月28日

株式会社 リ・ウッド

SAGA ENVIRONMENTAL IMPROVEMENT GROUP

環境経営レポート 目次

組織の概要	1
対象範囲、処理実績、処理料金	2
許可内容、施設等の状況、処理工程図	3
環境経営方針	4
実施体制	5
環境経営目標とその実績	6
環境経営計画	7
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組	8
代表者による全体の評価と見直しの結果	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10

組 織 の 概 要

事業所名	株式会社 リ・ウッド									
代表者氏名	代表取締役 石橋 誠一郎									
所在地(本社)	〒840-0004 佐賀県佐賀市蓮池町大字小松214番地1									
電話番号	(0952)71-0060									
FAX番号	(0952)71-0061									
設立年月日	平成12年10月30日									
資本金	1000万円									
売上高	3970万円									
環境管理責任者	石橋 建三郎									
事業内容	産業廃棄物処理業(中間処理、木くずの破碎)									
事業の規模 (平成26年度)	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>単位</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>従業員数</td><td>人</td><td>10</td></tr><tr><td>敷地面積</td><td>m²</td><td>11495.2</td></tr></tbody></table>		単位		従業員数	人	10	敷地面積	m ²	11495.2
	単位									
従業員数	人	10								
敷地面積	m ²	11495.2								
事業年度	4月～翌年3月									

認 証 ・ 登 録 範 囲

対象範囲

全組織(本社)

事業活動

産業廃棄物処理(中間処理・木くずの破碎)業

処 理 実 績

中間処理

令和4年度

種類	単位(t)
木くず	1,502.0

処 理 料 金

処理料金

別途問い合わせください。

許 可 内 容

産業廃棄物処分

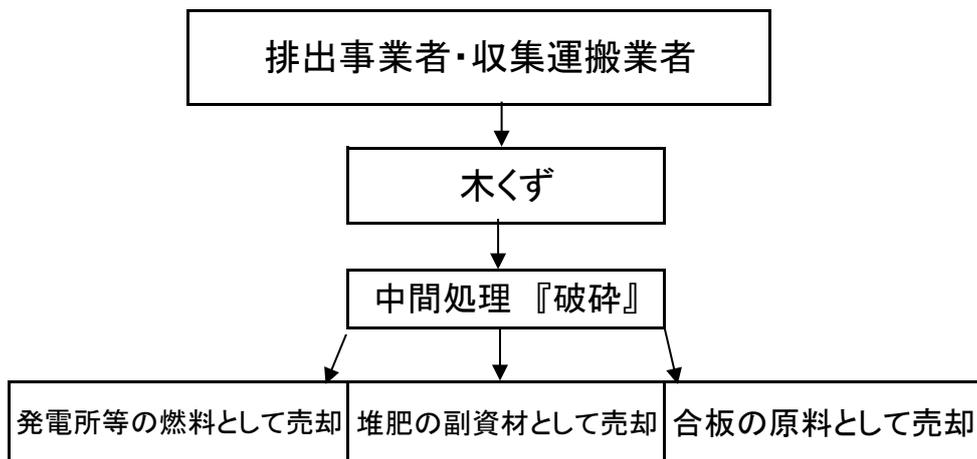
許可番号 04121075425
許可年月日 令和3年3月2日 有効年月日 令和8年3月1日

許可の内容		処理方法	処理能力	対象とする廃棄物
中間処理	破砕(固定式)	廃棄物を破砕後、有価物として販売する。	44t/日 (8時間)	木くず
中間処理	破砕(固定式及び移動式)	廃棄物を破砕後、有価物として販売する。	44t/日 (8時間)	木くず

施 設 等 の 状 況

	種類	台数
作業車両	油圧ショベル(0.7m ³)	1台
	油圧ショベル(0.45m ³)	1台
	ホイールローダ	1台
	フォークリフト	1台

処 理 工 程 図



環境経営方針

株式会社 リ・ウッドは、産業廃棄物処理業を中心に木材チップ製造業を営んでいます。
『強く必要とされる会社になる』という経営理念の下、循環型社会の実現に貢献し
次世代につながる環境活動を実践し、環境経営の継続的な改善に努めます。

1. 当社の事業活動を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。
 - 1)二酸化炭素排出量削減のため、省エネルギーに努めます。
 - 2)水使用量の削減に取り組みます。
 - 3)廃棄物排出量の削減に取り組みます。
 - 4)産業廃棄物のリサイクルに積極的に取り組みます。
 - 5)グリーン購入に取り組みます
 - 6)地域環境の保全に寄与するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
2. 当社に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知徹底します。

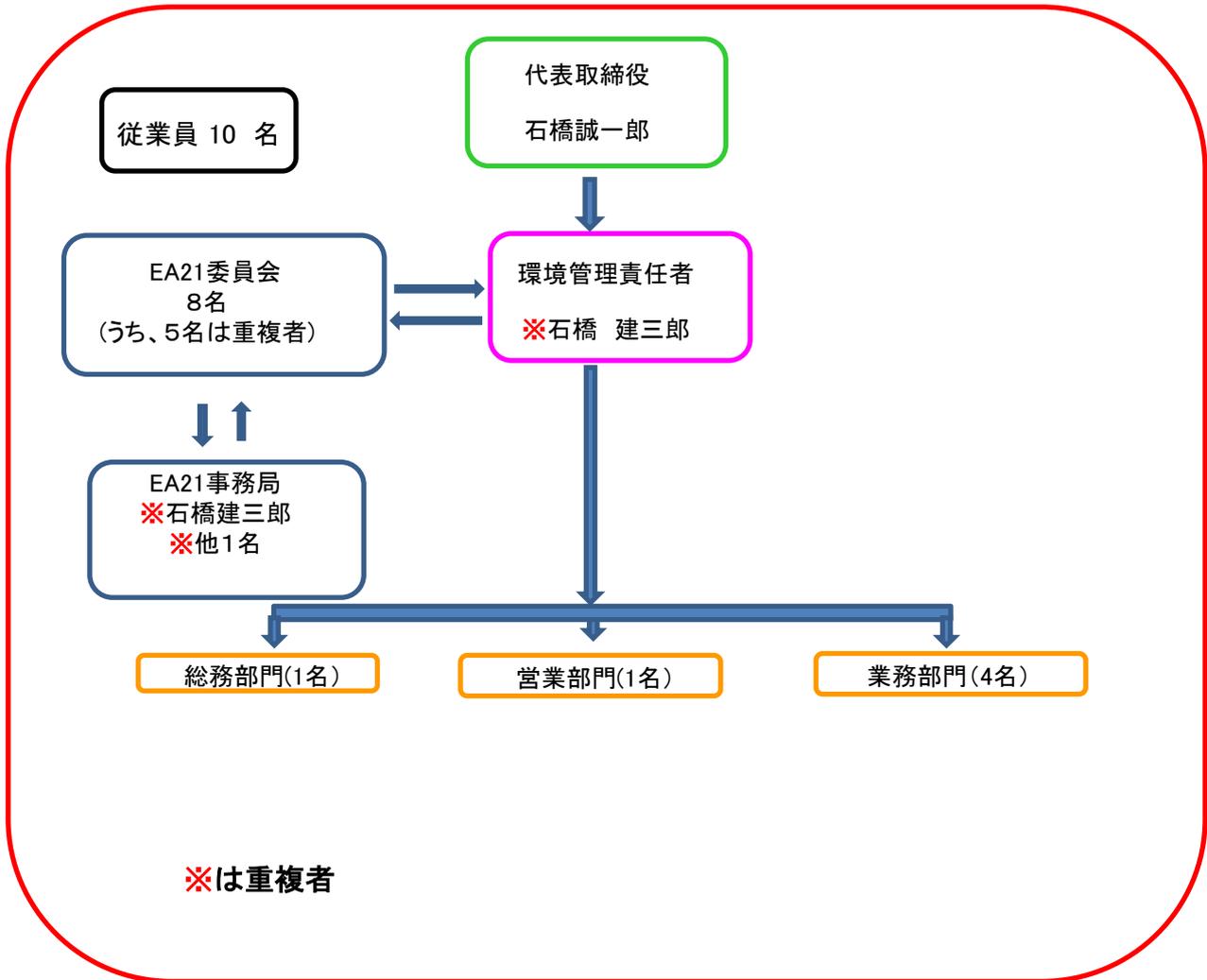
制定日 平成 27年 1月 1日

改定日 令和 2年 1月 1日

株式会社 リ・ウッド

代表取締役 石橋 誠一郎

エコアクション21実施体制



役割分担表

氏名	所属	役割、責任、権限
石橋誠一郎	代表取締役	1、経営における課題とチャンスの明確化 2、環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 3、経営資源の準備 4、環境管理責任者の任命 5、環境目標・環境活動計画・環境活動レポート等の承認 6、システム全体の評価と見直しを実施
石橋建三郎	環境管理責任者	1、EA21に係る事項の決定及び報告の場所である、EA21委員会の運営を行う 2、EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・実行し向上させる 3、上記の結果を社長に報告する。
8名	EA21委員会	月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する
石橋建三郎 他1名	EA21事務局	環境経営システムを構築し、運用し、実績を向上させる EA21文章及び記録類の作成、維持、管理を行う
総務	総務	電力、水道水、化石燃料の消費量の管理
石橋建三郎	営業	廃棄物管理
業務4名	業務	化石燃料(軽油等)の消費量の管理
全従業員		環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する

環 境 経 営 目 標

環境目標	単位	令和4年度 実績値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	150,150	148,649	147,147	145,646	144,144
電気使用量削減	kWh	61,441	60,827	60,212	59,598	58,983
灯油使用量削減	L	20	20	20	19	19
LPG使用量削減	kg	26	26	26	25	25
ガソリン使用量削減	L	761	753	746	738	731
軽油使用量削減	L	46,470	46,005	45,541	45,076	44,611
一般廃棄物の排出量削減 (焼却分)	kg	114	113	112	111	109
産業廃棄物の排出量削減 (最終処分)	t	1	1	1	1	1
上水道使用量削減	m ³	122	121	120	118	117
産業廃棄物のリサイクルの推進		分別指導	分別指導	分別指導	分別指導	分別指導
グリーン購入の推進	品目	6	6	6	6	6
地域貢献活動(ゴミ拾い)	回/月	1	1	1	1	1

※令和4年度実績値を基準として1%削減を目標とした。

※使用電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の2020年度調整後排出係数0.462kg-CO2/kWhを使用して算出した。

環 境 経 営 目 標 と そ の 実 績

環境目標	単位	令和4年度 実績値	令和5年4月～6年3月)		達成率
			目標	実績	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	150,150	148,649	134,403	111%
電気使用量削減	kWh	61,441	60,827	54,715	111%
灯油使用量削減	L	20	20	100	20%
LPG使用量削減	kg	26	26	28	94%
ガソリン使用量削減	L	761	753	854	88%
軽油使用量削減	L	46,470	46,005	40,700	113%
一般廃棄物の排出量削減（焼却分）	kg	114	113	898	13%
産業廃棄物の排出量削減（最終処分）	t	1.0	1.0	1.2	83%
上水道使用量削減	m ³	122	121	123	99%
産業廃棄物のリサイクルの推進		分別指導	分別指導	分別指導	
グリーン購入の推進	品目	6	6	6	100%
地域貢献活動（ゴミ拾い）	回/月	1	1	1	100%

※令和4年度実績値を基準として1%削減を目標とする。

※削減が目標の項目の目標達成率は、(目標値)/(実績値)で算出した。

※増加が目標の項目の目標達成率は、(実績値)/(目標値)で算出した。

※使用電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の2022年度調整後排出係数0.462kg-CO₂/kWhを使用して算出した。

環 境 経 営 計 画

1、二酸化炭素排出量の削減

1	電力使用量削減	1	空調温度設定(暖房22℃、冷房26℃)
		2	照明機器未使用時のこまめな消灯励行
		3	貼紙・声掛けをし、節電を促す
		4	蛍光灯をLEDのものに交換
		5	無用な空運転をしない
		6	機械類の始業前点検の実施
2	軽油・ガソリン等使用量削減	1	エンジンをかけっ放しにしない
		2	安全走行の励行(車両点検の実施)
		3	無用な空ぶかしをしない
		4	低燃費モデルへの入替の検討
3	灯油使用量削減	1	使用時間の短縮化
4	LPG使用量削減	1	使用時間の短縮化

2、廃棄物排出量の削減

1	コピー用紙使用量削減	1	ミスコピー防止の為印刷前の再確認
		2	使用済用紙の裏面使用
		3	両面印刷の利用
2	ごみの削減(一般廃棄物)	1	リサイクル処理
		2	ごみの分別処理
		3	煙草の吸殻持ち帰り(従業員)
3	産業廃棄物の削減	1	リサイクル処理
		2	各排出先への分別徹底をお願いする

3、水使用料量の削減

1	水使用量の削減	1	節水呼び掛け
		2	トイレタンクに節水用ボトルを入れる

4、リサイクルの推進

1	持込業者への分別指導	1	各排出先への分別徹底をお願いする
---	------------	---	------------------

5、事務用品のグリーン購入推進

1	事務用品のグリーン購入推進	1	カタログで適合品の選定を行う
---	---------------	---	----------------

6、地域貢献活動の実施

1	地域貢献活動(ゴミ拾い)	1	月1回の地域のゴミ拾い
---	--------------	---	-------------

環境経営計画の取組結果と評価, 次年度の取組

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 電力使用量削減	空調温度設定(暖房22℃、冷房26℃)	○	機械の稼働時間が長くなったため使用量が増加し目標を達成できなかった。 蛍光灯のLED化は複数社より見積を取り検討、不点灯分より順次LED蛍光管に交換。 その他に関しては今後も継続して取り組む。
	照明機器未使用時のこまめな消灯励行	○	
	貼り紙・声掛けをし、節電を促す	○	
	蛍光灯のLED検討	○	
	無用な空運転をしない	○	
2 軽油・ガソリン使用量削減	エンジンをかけっ放しにしない	○	ガソリン・軽油・LPG・灯油共に目標達成することができた。 今後も継続して取り組む。
	安全走行の励行(車両点検の実施)	○	
	無用な空ぶかしをしない	○	
	低燃費モデルへの入替	○	
	灯油使用量削減	○	
LPG使用量削減	○	使用時間の短縮化	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 コピー用紙使用量削減	コピーミス防止の為に印刷前再確認	○	社員の意識は高まっているが、入出荷の確認のための使用があり、使用量減にはならなかった。今後も取組を継続する。
	使用済み用紙の裏面使用	○	
	両面印刷の利用	○	
2 ゴミの削減(一般廃棄物)	リサイクル処理	○	ゴミの分別を実行し可能な限りリサイクルにて処分し、目標は達成した。 煙草の吸殻の持ち帰りを含め取組継続する。
	ごみの分別処理	○	
	煙草の吸殻持ち帰り(従業員)	○	
3 産業廃棄物の削減	リサイクル処理	○	今後も継続して、選別を行う。
	各排出先への分別徹底をお願いする	○	

3. 水使用量の削減

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 上水道使用量削減	節水呼び掛け	○	夏場の使用量が多く、目標の達成ができなかった。 呼び掛けは今後も継続して行う。
	トイレタンクに節水用ボトルを入れる	○	

4. リサイクルの推進

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 持込業者への分別指導	各排出先への分別徹底をお願いする	○	顧客訪問の際に、分別の徹底をお願いする。 今後も継続してお願いする。

5. グリーン購入推進

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 グリーン購入の推進	カタログで適合品の選定を行う。	○	適合品への切替ができた。 今後も継続して取り組む。

7. 地域貢献活動の実施

取組目標	取組計画	実施状況	評価・次年度の取組内容
1 地域貢献活動(ゴミ拾い)	月1回の地域のゴミ拾い実施	○	毎月1回、会社周辺のゴミ拾いを実施。 今後も、継続して取り組む。

次年度の環境経営計画

1、二酸化炭素排出量の削減

1	電力使用量削減	1	空調温度設定(暖房22℃、冷房26℃)
		2	照明機器未使用時のこまめな消灯励行
		3	貼紙・声掛けをし、節電を促す
		4	蛍光灯をLEDのものに交換
		5	無用な空運転をしない
		6	機械類の始業前点検の実施
2	軽油・ガソリン等使用量削減	1	エンジンをかけっ放しにしない
		2	安全走行の励行(車両点検の実施)
		3	無用な空ぶかしをしない
		4	低燃費モデルへの入替の検討
3	灯油使用量削減	1	使用時間の短縮化
4	LPG使用量削減	1	使用時間の短縮化

2、廃棄物排出量の削減

1	コピー用紙使用量削減	1	ミスコピー防止の為印刷前の再確認
		2	使用済用紙の裏面使用
		3	両面印刷の利用
2	ごみの削減(一般廃棄物)	1	リサイクル処理
		2	ごみの分別処理
		3	煙草の吸殻持ち帰り(従業員)
3	産業廃棄物の削減	1	リサイクル処理
		2	各排出先への分別徹底をお願いする

3、水使用料量の削減

1	水使用量の削減	1	節水呼び掛け
		2	トイレタンクに節水用ボトルを入れる

4、リサイクルの推進

1	持込業者への分別指導	1	各排出先への分別徹底をお願いする
---	------------	---	------------------

5、事務用品のグリーン購入推進

1	事務用品のグリーン購入推進	1	カタログで適合品の選定を行う
---	---------------	---	----------------

6、地域貢献活動の実施

1	地域貢献活動(ゴミ拾い)	1	月1回の地域のゴミ拾い
---	--------------	---	-------------

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有

1 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される主な環境関連法規等

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・フロン排出抑制法
- ・小型家電リサイクル法
- ・家電リサイクル法
- ・自動車リサイクル法
- ・オフロード法

当社は環境関連法規等の遵守状況をチェックしており、環境関連法規等への違反はありません。

2 違反、訴訟等の有無

関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

今回は、電気使用量、上水道使用量、一般廃棄物の目標数値の未達が発生し、その他の項目については目標達成できました。

社員の意識は徐々に変わってきていますが、まだ全項目の削減には至っておりません。

また、付近の住民及び行政との関係は、変わらず良好です。

引き続き環境経営目標の達成に向けて全社で努力していきたいと思っております。環境経営目標に関して、基準値の変更を検討します。

環境経営方針、環境経営計画、実施体制に関しては変更せずに取り組むこととします。